

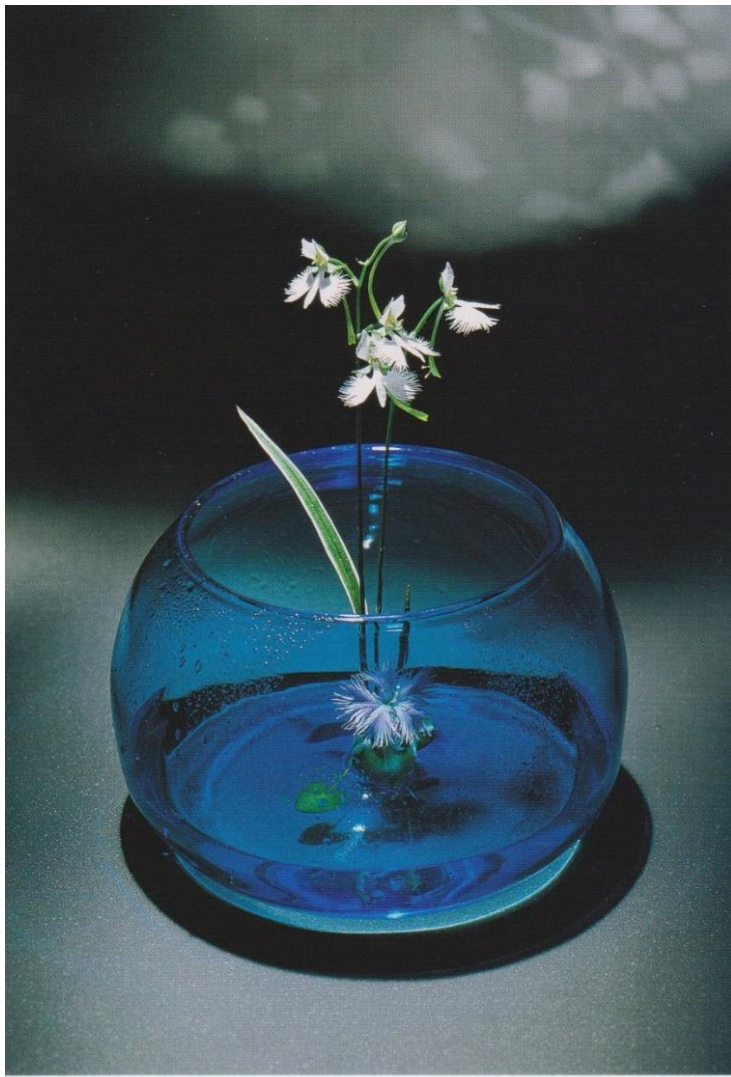


私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花便り

No.32 (2014年 7月号)



第13回園芸福祉シンポジウムinとうきょう
絆談義「植物と人間のさまざまな絆」に登壇された
花芸安達流二代主宰 安達瞳子氏のpostcardより
(花/サギソウ・ナデシコ・スイレン、器/ガラス鉢、カメラ/三浦賢造)

<掲載許諾>

目次

代表就任のご挨拶	2
平成26年度講演と園芸福祉実践事例発表会に参加して	3
基調講演「花と生き、花と遊ぶ、花のまちづくり」を・・・	3
平成26年度初級園芸福祉士養成講座のお知らせ	4
春日公園お花を植えましょうか？お花を植えましょう！	4
ふくおかファイナンシャルグループ体験ボランティア報告	5
「植物と人間の絆」出版	6
基調講演「白石農園の活動と精神障害者社会適応訓練事業」を聴いて	7
アナベルの雪山に魅せられて	8
ハーブガーデンづくりワークショップ参加者募集	9
グリッピーキャンペーン2014	9
オルレアの種差し上げます	10
福祉会の活動に参加して	10
定例会のご案内	11

代表就任のご挨拶

園芸福祉ふくおかネット 代表 谷口 博隆



会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から園芸福祉ふくおかネットの事業活動にご理解とご協力を戴き、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

第11回総会で私が代表を務めさせて戴くことになり、身の引き締まる思いでいっぱいです。これまで三代目代表として3期に渡り務められ功績をあげられた山崎博子様へ感謝状と花束を贈り、感謝の意を表しますとともに相談役に就任して戴くことが出来ました。顧問には、農林省園芸試験場出身で福岡県農業改良普及センター、県立農業大学校、県農政部などで花の栽培指導歴38年の経験を有する吉田博美氏をお迎えすることが出来ました。

園芸福祉ふくおかネットは、今年設立10周年を迎えます。顧みますと「花や植物にかかわってみんなで元気で幸せになろう」と、多くの方々と初級園芸福祉士養成講座で学び、初級園芸福祉士の資格証を得て喜びあった日のこと、皆で取り組んだ園芸福祉全国大会、福岡市都市緑化推進行事「グリップキャンペーン」や九州新幹線全線開業を記念して開催されるようになった福岡市の「福博花しるべ」、地方都市で初めて開催の日本園芸福祉普及協会の総会とシンポジウム、県の花育事業等々の大きな行事にみんなで一緒に知恵を出し合い、一致協力して成功させたこと、楽しかった数々のシーンや笑顔が思い出されます。また韓国や台湾とも交流するなど園芸福祉活動をアジアでも展開。このような園芸福祉ふくおかネットの様々な活動が各方面から高く評価されて何度も表彰の栄に浴しています。今秋10月には10周年記念行事を開催する予定です。園芸福祉を通して社会貢献や健康増進に寄与する園芸福祉ふくおかネットであることを広くアピールする機会を設けたいと考えておりますので、記念行事の実施については、新旧全会員にご参加戴き、ご協力をお願い致します。

NPO法人日本園芸福祉普及協会の黒瀬恵子理事から園芸福祉が文部科学省の評価を得て、園芸福祉コースを設定する高等学校も出てきているとの朗報を戴き、園芸福祉に風が吹いてきたな一と実感しています。このように園芸福祉が社会に認知されてくると「園芸福祉士」の活躍の場面も増えてくると思いますので、資格を取得しただけでなく積極的にスキルアップに努め、実力をつけることが望まれます。

今年度は、11月に初級園芸福祉士養成講座を開催します。久しぶりの開講なのでこれまで心待ちにされていた多くの方々に受講して戴き、園芸福祉の輪が更に大きく広がることを切に願っております。

これからも園芸福祉ふくおかネットの組織の充実と園芸福祉の普及啓発により一層尽力してまいり所存で御座いますので、会員の皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成26年度 初級園芸福祉士養成講座のお知らせ

初級園芸福祉士養成講座では、初級園芸福祉士として必要な園芸福祉に関する基礎知識や園芸福祉活動の実践技能の習得を目指します。

- ☆ 開催日 11月15日(土) 11月16日(日)
11月29日(土) 11月30日(日) 全4日間必修
- ☆ 場所 アイランドシティ中央公園 (福岡市東区香椎照葉4丁目)
ぐりんぐりんワークショップ・園芸福祉の庭
- ☆ 募集人数 30名(先着順)
- ☆ 受講料 36,600円 (テキスト、実習材料費等含む)
- ☆ お問い合わせ先

◎ 園芸福祉ふくおかネット 事務局 (黒瀬)

☎ 090-8626-1586

✉ engeifukusi.fukuoka@hya.bbq.jp

◎ NPO 法人 日本園芸福祉普及協会

☎ 03-3266-0666

☎ 03-3266-0667

✉ kyoukai@engeifukusi.com

県営春日公園 (^♪ お花を植えましょうか? お花を植えましょう! (^♪

井上 妙子

今回私が担当した方々がご利用になっている施設は春日公園の近くにあり、毎回歩いて参加され車椅子の人はいらっしゃいませんでした。

腰高花壇(レイズドベッド)の植え付け体験は、ワイワイにぎやかに指示する人、植え込み穴だけを掘る人、苗をポットのまま植えようとし、施設の職員の方が注意しても聞く耳を持たない人、それぞれが勝手に、でも楽しく植え付けて笑顔に包まれていました。

作業後ベンチに座っておられた若い頃はイケメンだったであろう男性3人組の1人から「名刺を下さい!」と云われびっくりしました。

次回、秋の植え込みの時に再会を約束しましたが、私の顔を憶えてくれているでしょうか・・・お互いに。

(^O^)/ (=^・^=) (#^.#) (*^_^^) (#^.#) (=^・^=) (^O^)/

山崎 博子

福岡県営春日公園のメイン園路に6基の腰高花壇（レイズドベッド）が設置してあります。私たちは毎年、春と秋に高齢者施設に入所されている方の花植えの指導を依頼されて7名が参加しています。「1ポットは自分の手で植えてもらいましょう」と指導に入る前に確認しました。



私のグループは、3名の方と施設の職員の方1名です。まずは私の自己紹介から、私と同じ名字の方がいらっしゃったので握手から始めました。初めてお会いする方たちなので、その方の体調とか性格がわからないので戸惑うこともあります。準備してあったサルビア、アゲラタム、ベゴニア、シソ4種類の花苗をポットに入ったまま仮に並べて、みんなで配置を確認します。黙々と作業される方、植えましょうかと促すと「こっちの手が痛いとお」、「じゃこっちの手に持って下さい」、「こっちも痛いとお」と。

話題を変えて、「〇〇さんは家でどんな花を植えていましたか?」「月下美人!」「きれいですよねー」と私。職員の方が、「これ、ここに植えたらきれいですよー」さっきまで「痛い!」と言われていた手で2株も植えられました。花壇全体の仕上りのバランスと脇芽を伸ばしボリュームを出すために草丈の半分くらいで剪定（ピンチ）した青シソを「月下美人の横に植えると」と言って、大事そうにお持ち帰りになりました。

ふくおかフィナンシャルグループ体験ボランティア 報告

米倉 治美

参加者は、岡村、國松、長岡、中山、金子、諸隈、米倉の7名と辻先生

植え込む花苗は、レースラベンダー10P、ガザニア15P、ナスタチウム8P、ココナツタイム3P、ゼラニウムピンク濃淡各2P 計4P 合計40P

子どもプラザにはココナツタイム3P、ゼラニウム4P、ガザニア3P

ハート花壇には、レースラベンダー10P、ガザニア12P、ナスタチウム8P、アイリッシュモス濃淡42P 店舗の前には笑顔プレートを19枚飾る。

ハート花壇と店舗前花壇に堆肥マルチング（ガーデニングコンテストで貰った堆肥大袋4袋）



今日の日のために剪定しないでいたアップルミントにハサミを入れると「あっ!いい香りがする!!」と嬉しそうな男性社員たち。ハート花壇を担当する班の女子たちにも「これに触れてみて?」。不思議そうに触れたハーブ・レモンタイムに「レモンのいい香りがする!」と笑顔の女性社員。「さあ、ハーブの香りで疲れが取れたところで作業開始!」。

大橋サテライト室内では担当の班がエコプレート作り、エコプレートに絵顔のスケッチ。完成した笑顔のプレートを店舗前の花壇に飾ると、パッと笑顔の花が咲きました。(次ページへ続く)

2時間の作業を終え挨拶の時に、福岡銀行の研修の若者たちから達成感と私たちへの感謝の拍手が起き、一瞬で心地よい疲れへと変わりました。



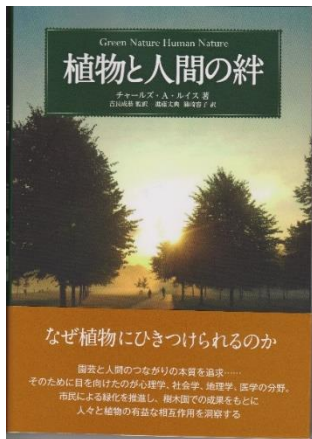
第13回園芸福祉シンポジウム in とうきょう

6月28日(土)東京都世田谷区 東京農業大学横井講堂で開催。基調講演は白石農園の活動と精神障害者社会適応訓練事業。次の絆談義では花芸安達流二代主宰安達瞳子氏による3タイプの竹の器を使った花芸の実演とお話、安達瞳子氏と完成した作品の前にカメラを構える人垣が出来た。

「植物と人間の絆」出版

山崎 博子

6月28日、東京の東京農業大学で開催された「第13回園芸福祉シンポジウム in とうきょう」に谷口代表、黒瀬、辻両副代表と山崎の4名が参加しました。



今年のシンポジウムの話題は何と言っても、「植物と人間の絆」という本が出版されたことではないでしょうか。この本は、チャールズ・A・ルイス(1924年米国ペンシルベニア州生まれ)著書「Green Nature/Human Nature」(原題)です。監訳者：吉長成恭日本園芸福祉普及協会理事長。訳者：園芸福祉士の進藤丈典(ひろしまね園芸福祉協会理事)さんと初級園芸福祉士の篠崎容子(ル・フルーロン主宰。マナコフラワーアカデミー一級教授)さんです。私はこの本のことは知りませんでしたが、原著は、米国や日本の人間・植物関係学会の創設や園芸療法、園芸福祉活動の普及推進のバイブルのような存在として、心の支えになっている名著だそうです。 花や緑が好きな人、コミュニティ再生、地域の復興にたずさわる人々、園芸福祉士、園芸療法士、都市計画や景観設計の専門家、教師、芸術家、健康や医療、介護にかかわるなど、多くの人々と分かち合いたい緑の自然と人間の本質の実証的研究です。(植物と人間の絆 P4 から抜粋)

私は、これからじっくりとこの本を読みたいと思います。この記事をお読みの皆様もぜひお読みくださいますようお願いいたします。購入ご希望の方は事務局の方にご連絡ください。まとめて発注されるそうです。なお、この本の売り上げの一部は、日本園芸福祉普及協会に入ります。

基調講演「白石農園の活動と精神障害者社会適応訓練事業」を聴いて

辻 和広

私は、今回のシンポジウムで1番関心があったのが基調講演「白石農園、大泉風のがっこう代表」白石好孝氏の「白石農園の活動と精神障害者社会適応訓練事業」でした。

白石農園は、東京都練馬区大泉に約1.4haの農園、そこでは、年間約100種類の野菜を生産直販、125家族を受け入れての農業体験農園、地域の小中学生を年間約1,000名の体験を受け入れての食育農業体験、精神障害者の社会適応訓練事業所としての受け入れなど様々な取り組みをしています。



統合失調症やうつ病等の精神障害者の社会復帰に協力され、毎月3～4名を受け入れ、種まきから収穫までの訓練を行っています。この訓練の成果として利用者の精神の安定がはかれた。対人関係のストレスが少なく、安心できる環境である。規則正しい生活が過ごせて、心も落ち着いてきたということでした。受け入れた農家の成果が、労力の軽減がなされた。価値ある労働力である。必要とされる良い関係ができた。これは、知的障害や他の障害のある方にも対応できるのではと思います、農家と障害者それを支える障害者支援センターと協力し「園芸福祉ふくおかネット」でも、その役割や支援の取り組みができないものかと聞きながら考えました。

シンポジウムを終え、交流会では、エコ鉢の紹介と全国の園芸福祉士との交流を東京農大の日本酒を飲みながら楽しい会話ができました。



次の日は、私の趣味であるカジュアル盆栽で使用しているフィギア専門店が巣鴨にあるので行ってきました。帰りは雷雨のため滑走路が閉鎖となり、飛行機が40分遅れとなりました。

自然の怖さと人間の無力さを感じながらの帰路となりました。

来年も是非参加できればと思っています。

交流会会場にて、（前列右から黒瀬副代表、花芸安達流二代主宰安達瞳子氏、山崎相談役
後列右から辻副代表、谷口代表）

■ 園芸福祉の庭 定例作業のお知らせ

毎月、最終日曜日の10時から実施しております。

（場所は、福岡市東区香椎照葉4丁目にありますアイランドシティ中央公園です。）
花壇の維持管理、花の植栽や除草など園芸福祉の庭の手入れ作業を2時間ほどしています。
お弁当のあとには、プチ勉強会も（注、毎回ではありませんので、例会に出席or事務局でお確かめください）

あなたも一歩踏み出して！ 「園芸福祉の庭」の定例作業に参加してみませんか。
笑顔がいっぱいで、とっても楽しいですよー♪

アナベルの雪山に魅せられて

山崎 博子

シンポジウム翌日は、東京・あきるの市『東京サマーランド』のアジサイ園(15,000株)の中にある「アナベルの雪山」を見に行きました。

東京といえば、高層ビルがひしめきあっているところというイメージでしたが、八王子から1時間に1本出るバスで約40分、そこは山の中腹でした。東京にも田舎があるのだと実感しました。

アナベル、大きいのは人の顔の大きさくらいあります。フウフウ言いながら上り詰めた斜面に真っ白いアナベルが一面に咲いていて、私を迎えてくれました。

「わあー! きれいかあー」の連発。 写真をご覧ください。



昨年、挿し木した我が家のアナベル、100%成功していますが、そのままになっています。

直ぐに影響を受ける私、雪山とまではいきませんが並木を作ろうと大きい鉢に移植しました。

※遊歩道で雪山の上に、ベンチやテーブルも設置されており、約4,000㎡の斜面に約3,000株のアナベルの雪山のような景を寛いで上から楽しむことができます。

ご案内

🌿 ハーブガーデンづくりワークショップ参加者募集! 🌿

宇美町の休耕田(300坪)を活用して

ハーブ香るオープンガーデンを作ります。

2014年11月にオープンするハーブガーデン作りにあなたも参加しませんか

プロのガーデナー、建築士たちと協働しながら、ワイワイ楽しくハーブガーデンを作りましょう

自転車の正屋さんも「HerbGardenCyclingClub」を結成し

このプロジェクトに参加しま〜す。 <http://www.masaya.com/store/>

- ◆ 活動日時 / 毎月第3日曜日 10:00~16:00
- ◆ 参加費 / 2,000円 (ランチ付)
- ◆ 畑の場所 / 糟屋郡宇美町障子岳5丁目1453-1 原の前野球場近く
- ◆ お問い合わせは / 特定非営利活動法人 緑のキャラバン隊

ハーブガーデン運営委員会 よねくら ほるみ 米倉 治美

お申込み・お問い合わせ先/090-3417-5662



グリップキャンペーン2014

★ テーマ

「ひろげよう そだてよう みどりの都市」 (全国都市緑化月間と共通テーマ)

★ 日時 平成26年10月18日(土)・19日(日)

★ 場所 天神中央公園 ・ 市庁舎1階ロビー

★ 園芸福祉ふくおかネットでは次のイベントを予定しています。

○ ハングングバスケットの展示 ○ 種アート(タネでお絵描き)

○ みどりのミニぱらんこ ○ 会員の作品や生産物などの販売 ○ こけ玉づくり教室

※ 園芸福祉ふくおかネットは、福岡市都市緑化推進行事実行委員会の委員として、グリップキャンペーンに参画しています。

種をあつめてまーす

種アートに使用しますので
色々な種を集めて十分乾燥
して第3土曜日 15時から
の定例会にお持ち下さい。

オルレアの種差し上げます

自然な景観演出するのに利用できる葉が細く、レースのような白い花を咲かせ、背丈は60 cmくらいの人気上昇中の素材です。

ホワイトガーデンやイングリッシュガーデン、ローズガーデンなどにおすすめです。切り花としても楽しめます。



セリ科の一年草で、寒さには強く日向から半日蔭まで育ちますが高温多湿や極端な乾燥は嫌います。今年は4月末から純白のレースのような花が咲き始め、6月初旬まできれいに咲いて、花壇を明るくしてくれました。とても強い花で、一度植えると毎年こぼれ種から芽を出しますのでボランティア花壇には、最適だと思います。

蒔き時は9月末から10月です。

オルレアの種ご希望の方は、園芸福祉ふくおかネット事務局までお申し込みください。

(一袋に約50粒) 8月の定例会と8月末のアイランド中央公園の園芸福祉の庭の定例作業の時にお渡します。



福祉会の活動に参加して

谷口 博隆

地域行政に携わっている関係から福祉員に任命され、福祉会の行事に参加しています。4月は、独居高齢者を対象としたバスハイク。八女市星野村「星の花公園」の「シャクナゲ祭り」に市社協のバスに乗って行きました。山の斜面に植えられたシャクナゲが満開でとても癒されました。歩行困難な方の車いすを若い福祉員と協力して見晴らしの良い場所まで押して上がり記念写真を撮りました。駐車場まで戻るのが園路が下り坂なので車いすから体が落ちないようにベルトで固定して、勾配が急なところは3人掛かりで走り出さないように、転倒しないようにと、支えたり、引っ張ったりしながら注意深くバックして無事バスに戻ることが出来ました。昼食は「そよかぜ」で、楽しいお買い物は「おぼしゃんの店」で、笑顔と笑い声がいっぱいです。今回は、車いすに安全ベルトが付いていることや坂道ではバックすること、マンツーマンだけでなく場面によってはとても人手が必要なことを学ぶことが出来、有意義な一日でした。

5月は、校区の福祉委員研修会で久留米市の「あじさい寺」で有名な千光寺を視察。色とりどりのあじさいの花々を愛で堂内に展示してある表情豊かな仏画も拝観しました。

6月は、花いっぱい活動です。公民館前にある4つの花壇に高齢者と子ども会がそれぞれ担当して花苗を植えてきれいにする恒例の行事です。今回は私が植えつけ指導を行いました。土づくりは事前に終わっていますので、植えつける花の名前と特徴、ポットからの抜き方や植えつけ方も実演して見せて、質問を受けました。(次ページへ続く)

花苗の鉢の土はピートモスの量が多かったので、鉢土の上に花壇の土を指一本分位かぶせて植えつけるように説明し、花の配植は実際に並べていくつかの見え方の違いを実感してもらった後、花苗を仮置して仕上がりを確認してから植えつけに取り掛かりました。 皆さん私が言ったことを理解したようにうなずいていましたが、植え付け作業の状況を見て回ると正門前の女子が担当した花壇はき・れ・い・に？植えられていました。 担当したリーダーは私を見上げ自慢げに「私たち女子のが最高でしょー！」と。 確かに男子と高齢者の植えつけを行った花壇は浅植えが多く、根鉢に土を盛り上げているだけなので灌水すると周りの低いところに流れ出し根鉢が顔を出すのが多く手直しが必要でした。 説明していると「わかった、わかった！」と言っているのは、分かってないことがよく、わ・か・り・ました。

7月は竹林から切り出した青竹を割って、樋を作り、独居高齢者たちとそうめん流しで暑気払いする計画です。

事務局からのお知らせ

◆ 定例会のご案内

- ◎園芸福祉ふくおかネットでは、毎月第3土曜日15時から2時間程度福岡市ボランティアセンターで定例会を開催しております。会員相互の意見や情報の交換、活動報告、作品の紹介、質問など役立つことがいっぱいです。定例会が終わってからの交流会は、本音が飛び交い、味わい深く、楽しいひと時です。

◆ あなたも活動紹介をしませんか？

- ◎個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸福祉の活動をお知らせ下さい。
- ◎メールやお手紙に写真を添えて、事務局までお送りください。

- 送り先／〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット 事務局 黒瀬 恵子 宛
[Eメール/ engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp](mailto:engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp)

◆ 年会費納入のお願い

- ◎平成26年度の年会費が未納の方は、お早目に下記口座へお振込みお願い致します。
- ✿年会費 2,000円 ✿郵便振替口座 ✿加入者 園芸福祉ふくおかネット
- ✿口座記号番号 01770-7-57288

● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

- ・ TEL 090-8626-1586(黒瀬)
- ・ E-mail engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- ・ 〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25
- ・ ネット通信 花便り 編集者 谷口 博隆